

兵庫県水産技術センターだより

貝毒情報(マガキ) KD-29-16号

平成30年2月8日発行

プランクトン及び貝毒検査を2月5日～8日に実施しましたので、その結果をお知らせします。

【概況】・貝毒検査の結果、今回検査した全地点で貝毒は検出されませんでした。

・貝毒原因プランクトンは、わずかに見られる程度でした。

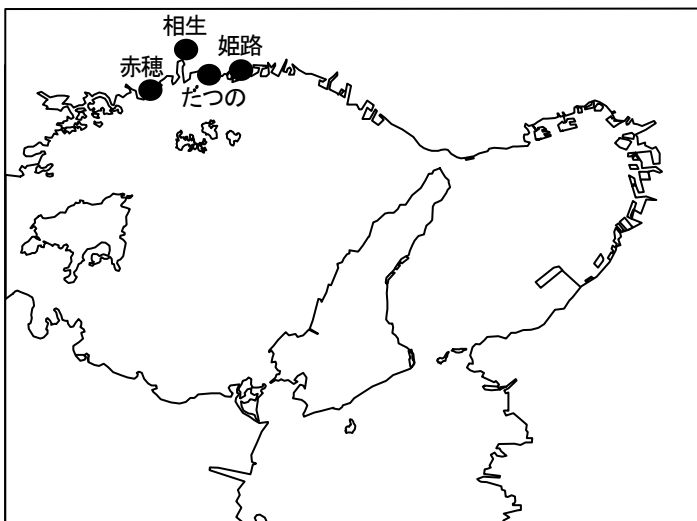


【検査結果】

年月日(採水・採取)		H30.2.5	H30.2.5	H30.2.5	H30.2.5
地点(St.)		姫路	たつの	相生	赤穂
水温(°C)		5.9	6.5	6.5	5.5
塩分		31.9	32.0	31.8	25.9
貝類の毒化状況 [マウスユニット/g]	麻痺性貝毒	ND	ND	ND	ND
麻痺性貝毒 原因プラン クton	アレキサンドリウム タマレンセ <i>Alexandrium tamarense</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0
	アレキサンドリウム <i>Alexandrium sp.</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0
下痢性貝毒 原因プラン クton	ディノフィシス フォルティ <i>Dinophysis fortii</i> (個数/ℓ)	0	0	0	0
	ディノフィシス アキュミナータ <i>Dinophysis acuminata</i> (個数/ℓ)	0	0	0	20

※NDとは、検出限界以下のことです。

※下痢性貝毒の検査は、兵庫県及び近隣府県の貝毒及びプランクトンの発生状況を考慮し必要に応じて適宜実施します。



＜規制の基準＞

可食部の毒量が

麻痺性貝毒: 4マウスユニット/g

下痢性貝毒: 0.16mg オキサ酸当量/kg } を超えた場合

＜注意が必要なプランクトン密度＞

・麻痺性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

アレキサンドリウム タマレンセ

Alexandrium tamarense 5,000 個数/ℓ以上

アレキサンドリウム カテナラ

Alexandrium catenella 50,000 個数/ℓ以上

・下痢性貝毒原因プランクトン(代表的な種)

ディノフィシス フォルティ

Dinophysis fortii 50,000 個数/ℓ以上

【今後の情報予定】

・2月26日の週にマガキの定期調査を予定しています。調査結果がまとまり次第「貝毒情報 KD-29-17号」としてお知らせします。

§ お問い合わせ先 § 兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター (担当: 水産環境部・内田、宮原)

Tel : 078-941-8602

Fax : 078-941-8604

Homepage : <http://www.hyogo-suigi.jp/>